

令和8年 第4回教育委員会（会議録）

令和8年4月22日（水）

午前9時30分～

坂祝町中央公民館 3階会議室

**日程第1 開会**

※教育長が開会を宣言する。

出席委員確認

教育委員	古田 博英
	兼松 悟
	原口 かおり
	安江 紫乃
教育長	渡辺 英哉
教育委員会事務局	教育課長 井上 大輔
	こども課長 岩井 正義
	教育課主幹 前田 加代子
	教育課係長 林 伸孝
	教育課主査 飯沼 由紀子

**日程第2 前回教育委員会の確認**

※教育課長が資料に基づいて報告をする。

**日程第3 教育長、教育委員報告事項**

教育長 本年度は大きく2つのことを進めたいと思っています。一つは、児童生徒、若者が参画できる体制をつくること。もう一つは児童生徒を見守っていく体制をつくることです。児童生徒、若者の参画については、昨年度から子どもたちの声を少しずつ聞き始めたところです。青少年育成の会議や社会教育委員会でも、子どもと大人と一緒にやっていきたい、子どもの声をしっかり聞きたいという話が出ています。子どもの参画と言いつつ大人の敷いたレールどおりやらせて満足しているのではダメで、子どもが何を考えているかを聞いて、子どもたちが考えてやれるようにしていきたいと考えています。見守り体制については、今年度順調なスタートを切り、多様な立場の大人たちがみんなで見守り、声を掛け合っていていますが、子どもたちもだんだん素が出て来て、中には「しんどさ」を抱えている子や、数は多くないものの不登校の状態にある子、また家庭内でもやややを抱えている子の姿も見受けられます。今後は教育課、こども課、児童相談所、福祉などの関係機関との連携をさらに深め、子ども本人だけでなく家庭全体を支援できる体制をより強化していきたいと考えています。この二つのことを考えたときに共通することがあります。それは、大人が目先のことだけでなく、将来を見据えた上で「今、何をすべきか」

を考えられるようになることです。例えば学校の先生であれば、自身の任期中や卒業までといった短い期間で考えてしまいがちですが、そうではなく10年先、20年先を考える必要があります。単に「今年のイベントが成功すれば良い」という考えではなく、将来どうしていくかを考えられる大人であってほしいと思います。「子どもにどんな力をつけたいか?」という問いはずっと問い続けていこうと思います。それぞれの大人がそれを考え、対話を重ねる。そんな姿を見せる大人たちに見守られてこそ、子どもも健全に育っていくのだと考えています。

古田委員 前にも話しましたが、中学生の合唱がとてもよく、揃った歌声が美しいと思います。高校の同窓会があり、自分は出席できなかったのですが幹事がLINEで様子を配信しており、その中で高校生が校歌を歌う動画があり、その歌声が大変美しかったです。中学生の合唱は伝統となっているので、今後も続けてほしいと思います。幼稚園の入園式ではアンパンマンが出てきた途端にみんなが集中していました。アンパンマンの効果はすごいと思いました。アンパンマンがすごいのか、あぁいったやり方が良いのかまた園長に聞いてみようと思います。郷土資料館に加茂高校の生徒が作った、以前のJR坂祝駅の駅舎の模型展示がされていました。子どもの頃にその近くで遊んでいた身としては懐かしいと思うのですが、懐かしいと思うのは一定の年齢より上の人だけだろうと思いました。スタッフが近辺を歩いてチラシを配っていました。いろんなイベントで広報や周知が足りないと言われるかもしれませんが、直接チラシを配るやり方はすごいと思いました。資料館は木曜日の昼間に開館しているので、子どもが見に行くのはなかなか難しいと思いましたが、学校で見学の時間を作ったりして、これからももっと見てもらえると良いと思いました。

兼松委員 3月は、沖縄の辺野古での高校生と船長が亡くなったショッキングな事件があり、教員が乗っていなかったことや安全管理が徹底されていたのかという問題点も言われています。将来のある生徒が亡くなったのはとても残念なことで、学校行事の安全性の確保は重要だと思いました。また、京都の小学5年生の事件でも、親は子どもを送っていったのに学校側は来ていないということで、以前に幼稚園バスに取り残された子のときも、親は行かせたのに園側は来ていないという状況になっており、そういった場合の欠席連絡などの連携がうまくとれていなかったのではないかと思います。

教育長 坂祝は「すぐーる」を使って管理しているので、保護者からの欠席連絡がなく学校に来ていない子がいた場合は、すぐに保護者へ連絡する体制になっています。

安江委員 新年度となり、子どもたちが低学年から高学年へ上がったことによって、先生方の関わり方が発達段階を見越したものに変わったことを子どもたちは感じています。子どもたちの向き合い方を家庭でも考えていきながら、寄り添い応援することを大切にしていけると良いと思いました。小学校1年生が入学し、

給食時間の配膳を先生がやっており、大変だなと思いました。登下校も先生たちが寄り添いながら歩いてくださり、とてもありがたいと思いました。

原口委員 坂祝町立幼稚園の入園者が1桁ということで、このままで良いものなのかと感じました。70人近い対象者がいる中、町立は1割程度しか入園しておらず、小学校に上がったときに町立の子はクラスに1割という状態になるので、コミュニケーションをうまく取っていけるか心配です。保護者の間ではどういう連携の中で3園から選択したのか気になりました。あと、いろいろな会議で聴き得た個人情報をつい話してしまうことがないように、個人情報の守秘義務について説明していただくと良いと思います。

兼松委員 町立の入園者が減ったのはバスが無くなったことは関係していますか？

こども課長 バスというより、保育時間の関係で、町立は17時までですが他の保育園などは18時までなので、そのあたりの選択だと思います。

原口委員 朝8時前に預けたい親や、1歳未満で預けたい親もいるようです。

古田委員 バスで決められた時間に送るより、自分で送れる時間に送るほうが良いということも聞いたことがあります。

安江委員 自分ときはバスはありがたかったです。通い始めてからまたアンケートを取ったりするのも良いと思います。

こども課長 保育園、こども園は入園理由を書くところがありますが、それを見ると保育の時間の関係が多いように思いました。

#### 日程第4 議事

(付議事件)

報告第 9号 教育長に委任された事務の執行状況の報告について

議案第22号 財産の取得に関する意見について

兼松委員 タブレットの台数が人数より多いのはなぜですか。

教育課長 転入や壊れた場合など、予備機を確保しているためです。

兼松委員 古いタブレットはどうなりますか？

教育課長 新しく購入したものは役場などで再利用も考えていますが、5年経っているものは廃棄処分します。

兼松委員 町民の方へ譲ったりはしないですか。

教育課長 それは考えていません。中のデータを確実に消す必要があり、情報が出ないように廃棄します。

古田委員 国庫補助はどのくらいありますか。

教育課長 購入費に対してだいたい3分の2くらいの補助になります。

議案第 23 号 坂祝町社会教育委員及び公民館運営審議会委員の委嘱について

議案第 24 号 坂祝小学校準要保護児童の認定について

※議案について、すべて承認。

## 日程第 5 その他

令和 8 年度坂祝幼稚園、坂祝小学校及び坂祝中学校の職員、主任及び学級編成について

令和 8 年度坂祝町教育委員会事務局職員の事務分掌の報告について

令和 8 年度坂祝小学校及び坂祝中学校の副教材について

令和 8 年度坂祝町社会教育行事について

令和 7 年度坂祝幼稚園・坂祝小中学校評価結果のまとめについて

古田委員 中学校の先生が『タブレットの性能や Wi-Fi の関係で、他校のような ICT 活用ができなかった』と書いていますが、確認されていますか。

教育主幹 起動に時間がかかる等の声はありました。秋に iPad に更新されることで使いやすさなどハード面は解消されますが、大事なのは先生方がそれを活用できるかですので、研修も進めていきたいと思えます。

原口委員 AI の活用、例えば ChatGPT などは現場で使われていますか？

教育主幹 まだ学校現場での導入段階には至っておりません。国からのガイドラインを踏まえ、使い方のルールや子どもたちへの指導内容を慎重に検討しているところです。ただ、AI の活用は加速しておりますし、子どもたちは日常生活の中で、携帯電話などで使っていると思えますので、避けては通れない話題として考えていきます。

当面する教育関係諸行事について

その他 ※事務局から資料に基づいて説明をする。

## 日程第 6 閉会

※教育長が閉会を宣言する。

閉会 午前 11 時 06 分